



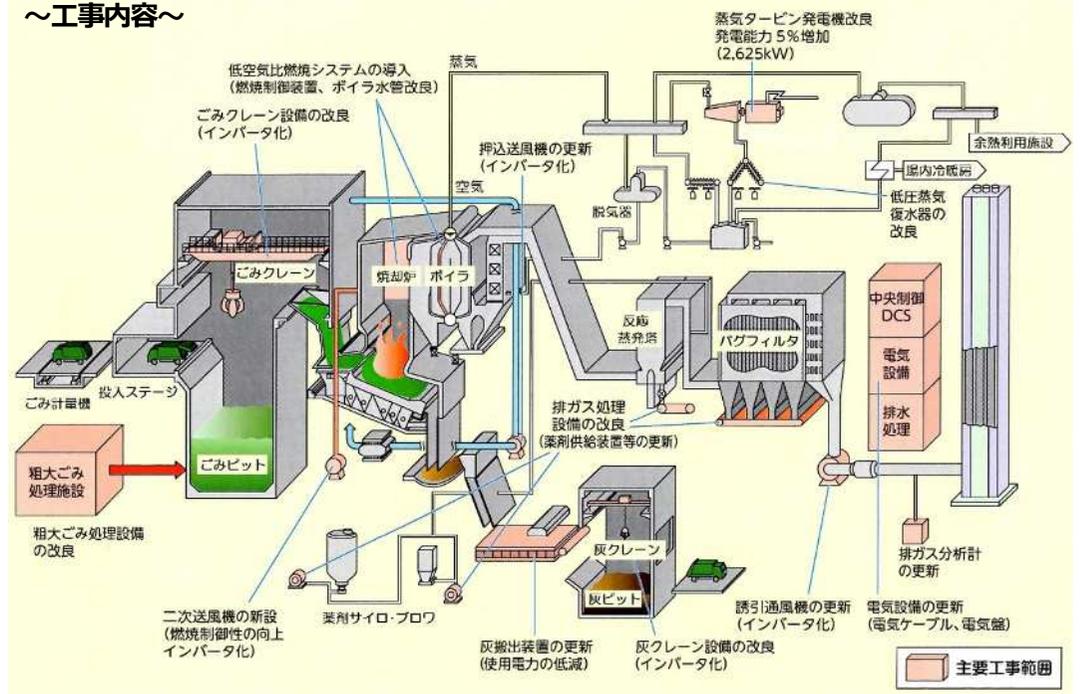
北清掃工場基幹的設備等改良工事が完成しました！！

資源循環部

北清掃工場は、平成3年に稼働を開始してから25年以上が経過し、設備・機器の老朽化が進んでいたことから、基幹的設備等の改良工事を実施しました。この工事により施設を令和18年度まで45年間稼働します。国内の大型ごみ焼却施設（発電設備を有する施設規模300t/日以上）では**国内トップクラスの稼働年数**となります。

- 施設概要
 - ごみ焼却施設 連続燃焼式ストーカ炉 450 t/日 (150 t/日×3 炉)
 - 粗大ごみ処理施設 横型回転破砕機 85 t/日 (5 時間)
- 工期 平成 29 年 9 月から令和 3 年 3 月まで
- 総工費 約 68 億 9,753 万円
環境省の二酸化炭素排出抑制対策事業費交付金を活用
- 発注方式 設計・施工一括の性能発注方式
- 受注者 三菱重工環境・化学エンジニアリング株式会社
- 工事概要 平成 28 年度に改訂した「相模原市一般廃棄物処理施設長寿命化計画」に基づき、施設を 15 年間延命化するために必要な基幹的設備の改良を行いました。(工事内容等は右図参照)
- 効果 発電能力の増強及び省エネルギーに伴う消費電力削減により、次の効果が得られました。
 - ① 売電収入が工事前と比べて約 4,500 万円アップ (令和 2 年度決算)
 - ② 二酸化炭素排出量を工事前と比べて約 23%削減

【売電収入】 平成 29 年度：約 4,300 万 ➡ 令和 2 年度：約 8,800 万円



～市民生活への影響を最小限にして工事を実施～

	平成 29 年度		平成 30 年度		令和元年度		令和 2 年度	
	9 月	3 月	4 月	10 月	4 月	10 月	4 月	10 月
実施設計	9 月		3 月		4 月		10 月	
ごみ焼却施設工事			1 号炉		2 号炉		3 号炉	
粗大ごみ処理施設工事								

- 1 か月間全停止(5 月)
- 1 か月間全停止(5 月)
- 全休炉期間はごみを南清掃工場に搬送替え
- 7 月～9 月は余熱利用施設に蒸気供給継続
- 分別を強化して破碎ごみを削減